

介護保険制度の認定状況等（区別）

平成28年3月31日現在

人口	高齢者人口 (65歳以上)	高齢化率	認定者数（チェックリストを除く）				
			1号被保険者 (65歳以上)	高齢者人口に 占める割合	2号被保険者 (40歳～64歳)		
全市	197,380人	59,375人	30.08%	12,265人	12,011人	20.23%	254人
合併前 上越市	131,588人	36,747人	27.93%	7,363人	7,201人	19.60%	162人
安塚区	2,584人	1,196人	46.28%	309人	306人	25.59%	3人
浦川原区	3,498人	1,199人	34.28%	246人	241人	20.10%	5人
大島区	1,682人	816人	48.51%	255人	252人	30.88%	3人
牧区	2,026人	943人	46.54%	270人	265人	28.10%	5人
柿崎区	10,014人	3,622人	36.17%	758人	747人	20.62%	11人
大潟区	9,660人	3,075人	31.83%	645人	631人	20.52%	14人
頸城区	9,505人	2,464人	25.92%	473人	462人	18.75%	11人
吉川区	4,417人	1,661人	37.60%	389人	381人	22.94%	8人
中郷区	3,958人	1,482人	37.44%	301人	294人	19.84%	7人
板倉区	7,057人	2,362人	33.47%	463人	458人	19.39%	5人
清里区	2,836人	947人	33.39%	191人	184人	19.43%	7人
三和区	5,834人	1,797人	30.80%	425人	414人	23.04%	11人
名立区	2,721人	1,064人	39.10%	177人	175人	16.45%	2人

高齢者の5人に1人は要介護認定者

上越市の介護保険制度における要介護認定状況が毎月公表されています。本年3月末現在の状況は左表のとおりです。認定者数は1万2265人。このうち65歳以上の人は1万2011人で、高齢者人口の20.23%を占めています。40歳から64歳までの人は254人です。地区別に見ると、高齢者人口に占める要介護認定者数割合が最も高いのは大島区の30.88%、次いで牧区の28.10%、安塚区25.59%となっています。もともと低いのは名立区で16.45%です。



【トキワイカリソウ】メギ科の多年草。漢字で「常盤碇草」と書きます。透明感のある白い花を咲かせます。花の形が碇に似ていて個性的です。写真は12日、吉川区代石にて撮影しました。

手製の研磨機が活躍

先日、市内でおもしろいものを見せてもらいました。手製の研磨機で平鍬の刃をといでいる様子です。鍛冶屋さんがほとんどいなくなってしまう、この人のところには畑仕事をしている何人かが鍬を持ち込んでいました。それにしても、はつめですね、この人は。



お知らせ

公職選挙法との関係で今号の発行はいつもより早めました。また、次号は24日号と1日号の合併号とします。

はしづめ法一の活動レポート

No.1753 2016.4.16

発行・編集 日本共産党前上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL http://www.hosei.jp/



ブログ「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一 検索

春よ来い

第四〇一回 卒業生へのお礼

どんな式典でも心に残る挨拶が続くと、何か得をした気分になります。三回目を迎えた県立吉川高等特別支援学校の卒業式もそうでした。

この日はちよっぴり雪が降り、冷えた朝になりました。卒業式が行われる場所は体育館。ストーブをつけても寒いだろうなと思いつつ、高校へ向かいました。でも、予想は外れました。体育館は思ったほど寒くはありませんでした。

今回は一四人の生徒が卒業式を迎えました。在校生、教職員、保護者、来賓が見守るなか卒業生が入場し、式典が始まりました。

昨年、同校に着任した校長の中田先生は式辞の中でクラーク博士の「少年よ大志を抱け」を引用し、「夢や希望をつかみ自分らしい人生をつくりあげてください」と卒業生を励ました。中田先生は、「このことばには『しかし、お金を求めるためであってほならない』などの続きがある。つらいとき、くじけそうになるとき、その場に踏みどまり、この言葉を思い出して、改めて一歩前に踏み出して下さい。これまで学校で学んだこと、身に付けたことが役に立つはずですよ」とのべました。わかりやすい、素敵な式辞でした。

来賓を代表して祝辞をのべた坂田PTA会長の言葉もまた心にピンと響きました。坂田会長は卒業生に向かってまず、「学校行事に取り組みみなさんの真剣な姿に襟を正される思いがした三年間でした。私自身が皆さんから成長させてもらった。ありがとう」とのべました。

私は、これまで学校の卒業式に数十回出ていますが、卒業生へのお礼を最初にのべた挨拶は初めて聴きました。でもこの日の卒業式に出席した人の多くは同じ思いだったのではないのでしょうか。中田先生の式辞でも引用された同校の教育目標、「夢と希望を持ち続け、みんな輝く」、その場面を運動会や学習フェスティバルなどいろいろなところで見ってきたからです。そういう場面で感動したのは、何よりも生徒自身だったとは思いますが、教職員も地域の人も感動したのです。そして、感動しただけじゃなく、改めて人としてあるべき姿を学んだ人は少なくなかったと思うのです。

坂田さんは挨拶の中で「失敗から学べ」「遠くを見よ」ということを自らの経験のなかから語り、出席者に感動を与えました。「数限りなくある失敗の中らほんのひとつだけ」と言つて坂田さんが紹介した失敗談は、学生時代の二〇歳のときにアルバイト先を首になったことでした。坂田さんは、「注意されたことについて素直に謝ることができなかつたのが原因だが、若いのにすべてわかっていてという自分自身の思い上がりがあった。苦い経験だったがその時のことが後の人生に役に立った」とのべました。

続いて坂田さんは、フランスの思想家、アランが『幸福論』の中に書いた言葉だという「遠くを見よ」にもふれ、「海岸で水平線を見るのもいいが私は星空を見るのが好きだ。先日の明け方、新聞を取りに外に出たとき、南の空に赤い星がきらきら輝いていて、寒さを忘れて見入ってしまった。星の光は何百年もかかって私たちのところに届く。ひよっとしたら、爆発してしまはないう星もあるかも知れない。遠くを見ているとどんな悩みも軽くなります」とのべて祝辞を終えました。

卒業式が終わってからの全校合唱。今回の曲はEXILEの「道」でした。「優しさに出会えたことで 僕は独りじゃなかった……」。式典ではずっと緊張しっぱなしだった卒業生のY君が笑顔で歌っている姿を見た私も胸が熱くなりました。

私のブログ、「ホーセの見たある記2」4月11日付けから

昨日とは打って変わって雨になっています。おはようございます。雨が降っていると寒いですね。ストーブがほしい感じです。今朝は5時半からお宮掃除などがあったので早起

きしました。

昨日は午前が地元町内会の春普請でした。農道や用水路などの修繕、ため池の泥上げなど大勢で行いました。普段やらない仕事をやりましたから、きょうあたりから体の節々が痛くなってくるかも知れません。

作業場所の移動中、ギフチョウと出合いました。ちょうど、里山のある場所でした。私たちが歩いている目の前を飛んで行ったので、すぐにカメラを取り出しました。なかなかカメラでとらえることができなかったのですが、幸運にも地面に降りてきました。その時の写真を掲載しました。今年初めて出会ったギフチョウです。

午後からは街頭宣伝でした。天気良かったので、田んぼや畑で仕事をしている人が多かったですね。田んぼの中のトラク

ターの中から手を振ってくださる人、畑仕事の手を休ませ、話を聞いてくださる人など、選挙本番並みの応援、反応がありました。

夕方、街宣から戻るとわが家に宅急便が届いていました。それも朝出して、その日のうちに着く当日便です。何かと思ったら、新潟市在住の大野隆一郎先生から私の随想「春よ来い」の第301回から400回までを1冊にまとめた本が届いていたのです。ブログには昨日の朝、第400回の随想を載せたばかりでしたので、それも入れて本にして、すぐに送ってくださるなんて……。びっくりでした。先生から送っていただいた“世界で1冊しかない本”はこれで4冊目になります。感謝の気持ち

ちでいっぱいです。

きょうは朝宣伝の後、地元で1日中動きます。

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16 μ Sv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	4月6日(水)	4月13日(水)
上越南消防署	0.040	0.047
上越北消防署	0.047	0.053
新井消防署	0.057	0.053
頸北消防署	0.053	0.047
頸南消防署	0.050	0.057
東頸消防署	0.050	0.057
高士分遣所	0.050	0.050
名立分遣所	0.050	0.056

